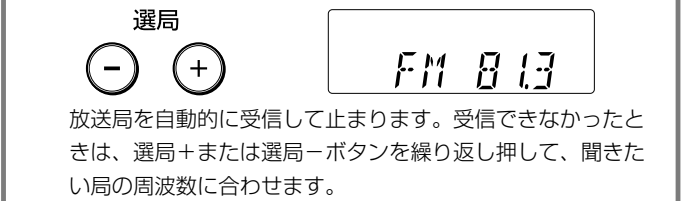
ラジオを聞く

1 **ラジオ・オートプリセット・FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。**

ボタンを押すと、自動的に電源が入り、「FM」または「AM」が表示されます。切り換えるときは、もう一度押します。

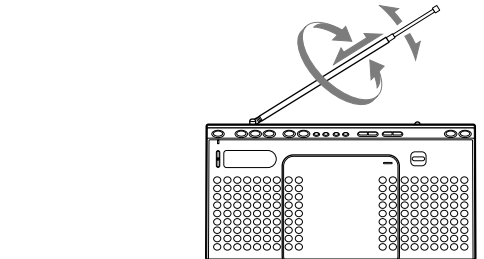
2 **選局＋または選局－ボタンを押しながら、数字が動き始めたら指を離す。**

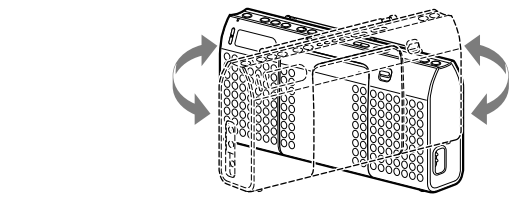
選局

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、選局＋または選局－ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

したいこと	操作
音量を調節する	音量＋/－ボタンを押す。
電源を切る	電源ボタンを押す。

受信状態をよくする

FM放送のとき

ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

AM放送のとき

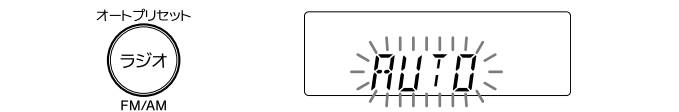
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

ちょっと一言

- 本機は、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを繰り返し押して、「MONO」を表示させます。音はモノラルになります。
- ステレオ放送を受信すると、「ST」が表示されます。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。

1 **ラジオ・オートプリセット・FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。**

2 **表示窓に「AUTO」を点滅させるまで、ラジオ・オートプリセット・FM/AMボタンを約2秒間押したままにする。**

3 **表示切替/決定ボタンを押す。**

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1. ラジオ・オートプリセット・FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
2. 記憶させたい放送局を受信する。
3. プリセット番号が点滅するまで、表示切替/決定ボタンを約2秒間押したままにする。
4. 記憶させたいプリセット番号が点滅するまで、プリセット＋（▶▶I）またはプリセット－（I◀◀）ボタンを押したままにする。
5. 表示切替/決定ボタンを押す。
   新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

リモコンでは

1. FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
2. 選局+または選局－ボタンで放送局を選ぶ。
3. 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

   プリセット番号が10番以降の場合には
   ① リモコンの+10ボタンを押して、10の位の数を設定する。
   ② リモコンの数字ボタンを押して、1の位の数字を設定する。
   1の位の数字ボタンを押す場合は、約2秒間押してください。
   例：プリセット番号12の場合は、+10ボタンを押してから、数字ボタン2を約2秒間押したままにする。

ちょっと一言

記憶させた放送局は、ACパワーアダプターを抜いたり、乾電池を取り出したりしても消えません。

記憶させた放送局を聞く

1 **ラジオ・オートプリセット・FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。**

2 **プリセット＋（▶▶I）またはプリセット－（I◀◀）ボタンを押して、聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。**

リモコンでは

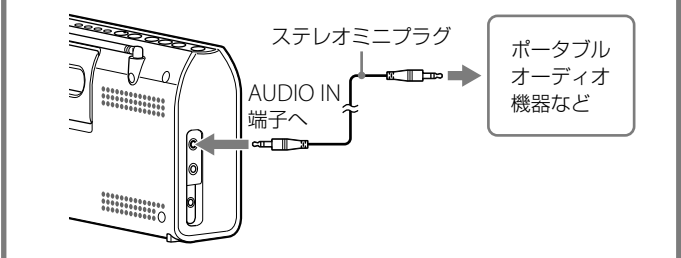
1. FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
2. 記憶させたプリセット番号の数字ボタンを押す。

   プリセット番号が10番以降の場合には
   ① リモコンの+10ボタンを押して、10の位の数を設定する。
   ② リモコンの数字ボタンを押して、1の位の数字を設定する。
   例：プリセット番号12の場合は、+10ボタンを押してから、数字ボタン2を押す。

外部機器をつないで聞く

別売りのオーディオ機器などを本機につないで、本機のスピーカーで音声を聞くことができます。

1 **別売りの機器を本体側面のAUDIO IN端子につなぐ。**

別売りの音声接続コード（ステレオミニプラグ）を使って、別売りの機器の音声出力端子（ヘッドホン端子など）につなぎます。

2 **AUDIO INボタンを押す。**

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「AUDIO IN」が表示されます。

3 **つないだ機器を再生する。**

本機のスピーカーから音声が出力されます。
再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

したいこと	操作
音量を調節する	音量＋/－ボタンを押す。
電源を切る	電源ボタンを押す。

ご注意

- 接続したミュージックプレーヤーの出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続したミュージックプレーヤーの出力端子がLINE OUT端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子に接続してください。
- ミュージックプレーヤーなどのヘッドホン端子と接続した場合は、ミュージックプレーヤーの音量を上げてから、本機の音量を調節してください。

使用上のご注意

置き場所について

本機やCD等を次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所、暖房器具や調理器具の近く
- 温度が非常に高いところ（40℃以上）
- 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）
- 風呂場など、湿気の多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- テレビの近く

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体内部に液体や異物を入れないでください。
- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  －時計
  －クレジットカードなどの磁気カード
  －カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

ACパワーアダプターについて

- コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。
- アダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。
- 長い間使わないときは、アダプターをコンセントから抜いてください。
- アダプターは容易に手が届くコンセントに接続してください。万一異常が起きたときは、すぐにアダプターをコンセントから抜いてください。

CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）とCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
  MP3やWMAなど、CD-DA以外のフォーマットは再生できません。

* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDiscについて

- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート形、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

共 通

電源が入らない。

- 電源コードをDC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。正しく入れてない場合は、「BATTERY ERROR」が表示されます。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。消耗した乾電池の場合は、「LOW BATT」が表示されます。

音が出ない。

- 音量を調節する。
- ヘッドホンを ♫（ヘッドホン）端子から抜く。

雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

再生が始まらない。CDが入っているのに「NO DISC」が表示される。

- CDが裏返し→文字のある面を上にする。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。

- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWに何も録音されていない。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。消耗した乾電池の場合は、「LOW BATT」が表示されます。

音がとぶ。

- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- CDに傷がある→CDを取り換える。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ることがあります。

ラジオ部

FM受信時ステレオにならない。

- モードボタンを押して、「STEREO」を表示させる。
- ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

雑音が入る。

- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。消耗した乾電池の場合は、「LOW BATT」が表示されます。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。

リモコン部

リモコンで操作ができない。

- リモコンの乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。
- リモコンを本体へ向けて操作する。
- 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。
- 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20Hz － 20,000Hz +0.021/–0.1dB（JEITA）

ラジオ部

受信周波数	FM: 76.0MHz － 90.0MHz AM: 531kHz － 1,710kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

共通部

スピーカー	フルレンジ：5cm、コーン型4Ω、2個
入力端子	ステレオミニジャック1個
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16Ω － 32Ω
実用最大出力	1.7W ＋ 1.7W（JEITA/4Ω）
電源	本体用： 外部電源端子　定格DC IN 9V ACパワーアダプター（付属）を接続してAC100V電源から使用可能 単2形乾電池6個使用（DC 9V） リモコン用： 単4形乾電池2個使用（DC 3V）

電池持続時間

測定条件 ＼ 使用乾電池	ソニーニュースーパー R14P	ソニーアルカリ LR14
FM受信時（JEITA）	約13.5時間	約20時間
CD再生時**（JEITA）	約1.5時間	約8時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
** 音量7分目程度

最大外形寸法	約323mm × 160mm × 69mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA）
質量	本体　約1.4kg ご使用時　約1.8kg（乾電池含む）
付属品	ACパワーアダプター（1）、リモコン（1）、リモコン用単4形乾電池（2）、取扱説明書・保証書（1）、安全のために（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

SONY®

4-189-336-**03**(1)

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

ZS-E70

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

品　名　パーソナルオーディオシステム
型　名　ZS-E70
保証書　T05-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

各部のなまえ

本体

＊ 本体の►II(再生/一時停止)ボタン、音量+ボタンには、凸点がついています。操作の目印として、お使いください。

リモコン

＊ リモコンの音量+ボタン、数字ボタン5には、凸点がついています。操作の目印として、お使いください。

1 電源ボタン
2 CDボタン
3 ラジオ・オートプリセット・FM/AMボタン
4 AUDIO INボタン
5 ►II(再生/一時停止)ボタン
6 ■(停止)ボタン
7 プリセット＋/－・►►I/I◄◄ ボタン
8 選局＋/－ボタン
9 スピードコントロール＋/－ボタン
10 イージーサーチすすむ/イージーサーチもどるボタン
11 音量＋/－ボタン
12 開く(▼)スイッチ
13 押す・閉じる
14 表示窓
15 モードボタン
16 表示切替/決定ボタン
17 電源/電池ランプ
18 DC IN 9V(⊖Ⓒ⊕)端子
19 ヘッドホン(Ω)端子
20 AUDIO IN端子
21 ファンクションボタン
22 クリアボタン
23 決定ボタン
24 FM/AMボタン
25 リセットボタン
26 +10ボタン
27 数字ボタン

ちょっと一言

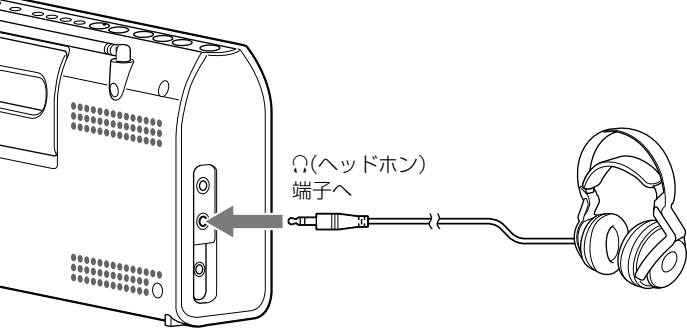
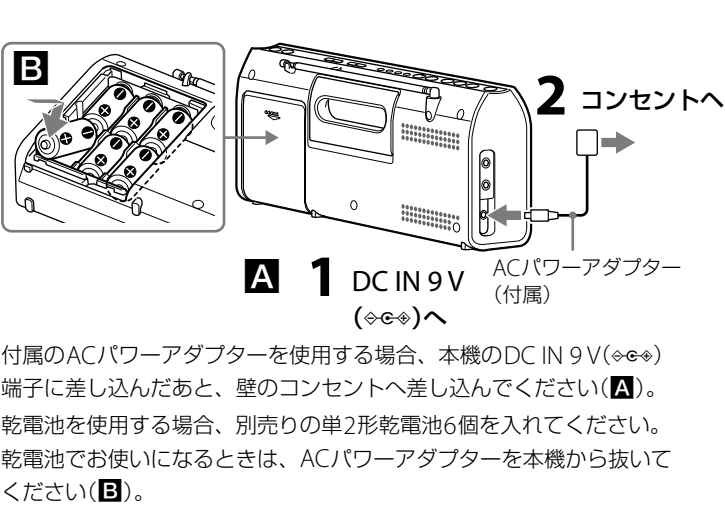
ヘッドホンで聞くときは、ヘッドホンをΩ(ヘッドホン)端子につないでください。

Ω(ヘッドホン)端子へ

電源を準備する

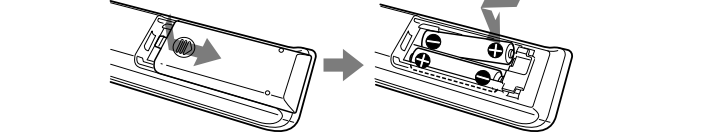
付属のACパワーアダプターを使用する場合、本機のDC IN 9 V(⊖Ⓒ⊕)端子に差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください(A)。

乾電池を使用する場合、別売りの単2形乾電池6個を入れてください。乾電池でお使いになるときは、ACパワーアダプターを本機から抜いてください(B)。

ご注意

- 乾電池で使うときは、ACパワーアダプターを本機から抜いてあることを確かめてください。ACパワーアダプターをつないでいると、乾電池では使えません。
- 乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。すべて新しい電池に交換してください。
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。
- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて傷つくおそれがあります。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

リモコンに乾電池を入れる

リモコンに乾電池を入れる

単4 形乾電池2 本(付属)を入れてください。

乾電池の交換について

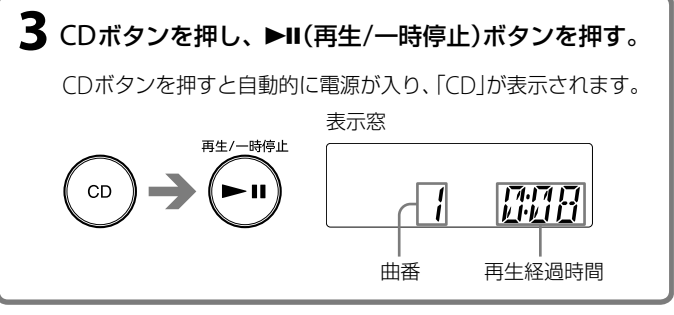
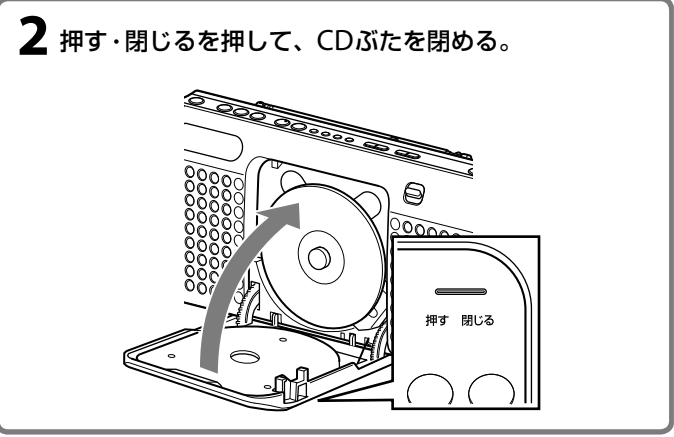
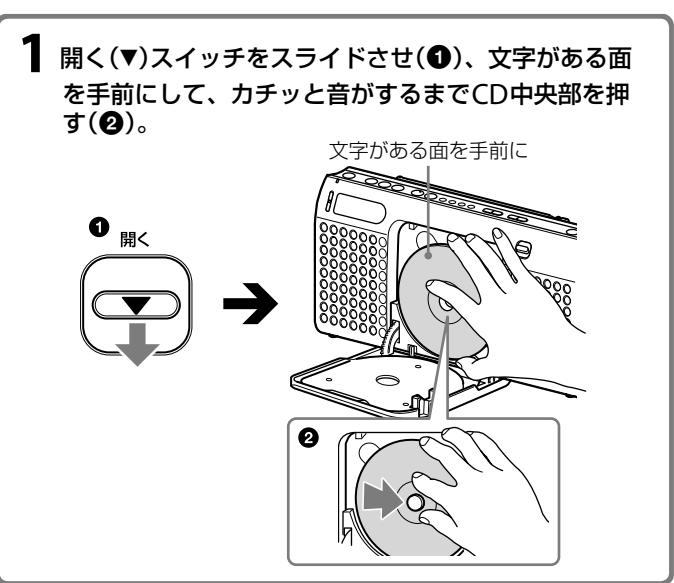
操作できる距離が短くなってきたら、すべて新しい電池に交換してください。

CDを聞く

1 開く(▼)スイッチをスライドさせ(❶)、文字がある面を手前にして、カチッと音がするまでCD中央部を押す(❷)。

2 押す・閉じるを押して、CDぶたを閉める。

3 CDボタンを押し、►II(再生/一時停止)ボタンを押す。

CDボタンを押すと自動的に電源が入り、「CD」が表示されます。

再生/一時停止
表示窓
曲番　再生経過時間

したいこと	操作
音量を調節する	音量＋/－ボタンを押す。
再生を止める	■(停止)ボタンを押す。
再生中に一時停止する	►II(再生/一時停止)ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まる。
次の曲へ進む	プリセット＋(►►I)ボタンを押す。
曲の頭に戻る	プリセット－(I◄◄)ボタンを押す。
曲を聞きながら聞きたい部分を探す	再生中にプリセット＋(►►I)またはプリセット－(I◄◄)ボタンを押したままにする。
電源を入/切する	電源ボタンを押す。
表示窓の再生時間を見ながら聞きたい部分を探す	一時停止中にプリセット＋(►►I)またはプリセット－(I◄◄)ボタンを押したままにする。
曲番で直接聞きたい曲を選ぶ	リモコンの+10ボタンと数字ボタンを押して、曲番を選択する。詳しくは、「CDを聞く」の「曲番で直接聞きたい曲を選ぶには(ダイレクト選曲)」をご覧ください。

ご注意

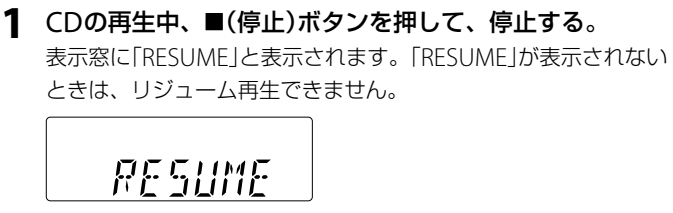
- 曲番で直接選ぶ場合、表示窓に「SHUF」が出ていたら、停止中に「SHUF」の表示が消えるまで、本体またはリモコンのモードボタンを繰り返し押す。
- 再生中または一時停止中にモードボタンは使えません。押した場合は、表示窓に「PUSH STOP」が表示されます。

停止したところから再生する(リジューム再生)

曲の途中で停止した場合でも、停止したところから再生できます。

1 CDの再生中、■(停止)ボタンを押して、停止する。

表示窓に「RESUME」と表示されます。「RESUME」が表示されないときは、リジューム再生できません。

RESUME

2 ►II(再生/一時停止)ボタンを押す。

手順1で停止したところから、再生が始まります。

ご注意

- 停止したところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 以下の操作をすると、停止したところの記録は消え、リジューム再生は無効になります。
  －CDぶたを開けたとき
  －再生モードを変えたとき
  －電源の入／切をしたとき

ちょっと一言

CDを最初から再生したいときは、■(停止)ボタンを2回押してから、►II(再生/一時停止)ボタンを押す。

表示窓を見る

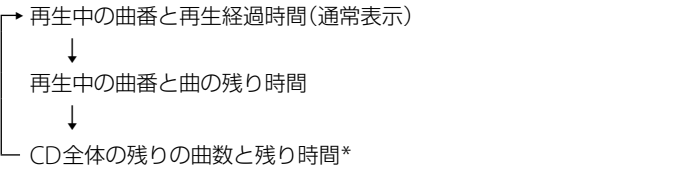
全曲数と全再生時間を調べるには

再生中は■(停止)ボタンを2回、停止中は■(停止)ボタンを1回押して、表示窓を見る。

全曲数と全再生時間残り時間を調べるには

再生中に表示切替/決定ボタンを押す。

押すたびに以下のように表示が変わります。

→ 再生中の曲番と再生経過時間(通常表示)
↓
再生中の曲番と曲の残り時間
↓
CD全体の残りの曲数と残り時間*

* リピート再生、シャッフル再生の場合は、表示されません。

繰り返し聞く(リピート再生)

停止中に本体またはリモコンのモードボタンを押して、以下の操作をする。

リピートの種類	操作
1曲だけ繰り返す	1「⟲ 1」に切り替わるまで、モードボタンを繰り返し押す。 2 プリセット＋(►►I)またはプリセット－(I◄◄)ボタンを押して、曲番を選ぶ。 3 ►IIボタンを押す。
全曲を繰り返す	1「⟲」に切り替わるまで、モードボタンを繰り返し押す。 2 ►IIボタンを押す。

リピート再生をやめるには

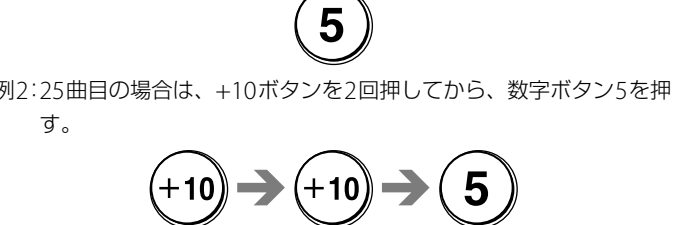
停止中に「⟲」の表示が消えるまで、モードボタンを繰り返し押す。

ご注意

再生中にモードボタンを繰り返し押しても、リピートの設定はできません。

曲番で直接聞きたい曲を選ぶには(ダイレクト選曲)

リモコンの+10ボタンと数字ボタンを押して、曲番を選択する。

例1:5曲目の場合は、数字ボタン5を押す。

例2:25曲目の場合は、+10ボタンを2回押してから、数字ボタン5を押す。

順不同に聞く(シャッフル再生)

1 停止中に「SHUF」に切り替わるまで、本体またはリモコンのモードボタンを繰り返し押す。

2 ►II(再生/一時停止)ボタンを押す。

再生が始まります。

シャッフル再生を全曲繰り返すには

停止中に「SHUF ⟲」に切り替わるまで、モードボタンを繰り返し押す。

シャッフル再生をやめるには

停止中に「SHUF」の表示が消えるまで、モードボタンを繰り返し押す。

ご注意

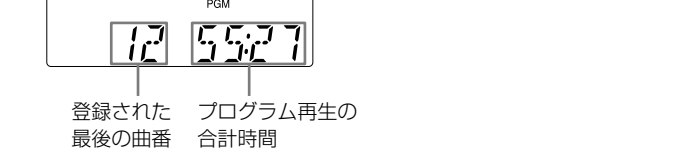
再生中にモードボタンを繰り返し押しても、シャッフルの設定はできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)

1 停止中に「PGM」に切り替わるまで、モードボタンを繰り返し押す。

2 プリセット＋(►►I)またはプリセット－(I◄◄)ボタンを押して、聞きたい順に曲番を選び、表示切替/決定ボタンを押す。

「STEP xx」と表示されます。

25曲までプログラムすることができます。

3 ►II(再生/一時停止)ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

リモコンでは

1 ■(停止)ボタンを押す。

2 「PGM」に切り替わるまで、モードボタンを繰り返し押す。

3 数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

再生したい順番に数字ボタンを押すと、直接登録できます。

4 ►II(再生/一時停止)ボタンを押す。

プログラム再生で全曲繰り返すには

停止中に「PGM ⟲」に切り替わるまで、モードボタンを繰り返し押す。

プログラム再生をやめるには

停止中に「PGM」の表示が消えるまで、モードボタンを繰り返し押す。

登録ステップ数、登録最終曲と合計時間の表示を確認するには

停止中に表示切替/決定ボタンを押す。表示切替/決定ボタンを押すと、登録ステップ数と登録最終曲・合計時間が交互に表示されます。

プログラムを変更するには

① 現在のプログラムから新たに曲番を追加する

停止中にプリセット＋(►►I)またはプリセット－(I◄◄)ボタンを押して、曲番を選び、表示切替/決定ボタンを押す。

リモコンの場合、クリアボタンを押すと、プログラム最終曲から1曲ずつ削除されます。

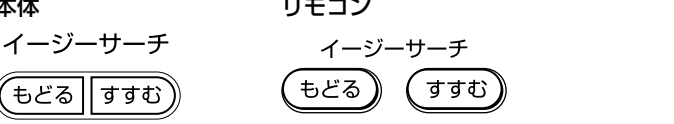
② 始めから設定する

再生前には1回、再生中には3回、■(停止)ボタンを押して、現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言

- プログラムは26曲以上登録できません。26曲以上プログラム登録しようとすると、表示窓に「FULL」と表示されます。
- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。►II(再生/一時停止)ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDぶたを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム再生の合計時間が99分59秒を超えた場合、「--:--」と表示されます。

再生位置を進める/戻す(イージーサーチ機能)

CD再生中にイージーサーチボタンを押すことによって、音声を戻して聞きなおしたり、進めて聞くことができます。

「すすめる」には

本体またはリモコンのイージーサーチすすむボタンを1回押す。

約10秒先に進みます。

「もどす」には

本体またはリモコンのイージーサーチもどるボタンを1回押す。

約3秒前に戻ります。

ご注意

- CDの停止または一時停止中は、イージーサーチは使えません。
- 最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチすすむボタンを押すと、曲は停止します。
- 全曲リピートのとき、最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチすすむボタンを押すと、始めの曲になります。

CDの再生速度を変更する(スピードコントロール機能)

語学学習などで再生速度を調節したいときに使用します。

CDの再生速度は約－20%から約＋20%の7段階で変更できます。

SPEED -3 ⟷ -2 ⟷ -1 ⟷ 0 ⟷ +1 ⟷ +2 ⟷ SPEED +3
(遅い)　(通常速度)　(速い)

再生速度を変更するには

本体またはリモコンのスピードコントロール+/-ボタンを押して、速度を変更する。

再生速度をもとに戻すには

本体またはリモコンのスピードコントロール＋/－ボタンを押して、SPEED 0にする。

リモコンで再生速度をもとに戻すには

リセットボタンを押す。